



# サーモカメラご利用について ～正しい温度測定のために～

サーモカメラコンソーシアム

# サーモカメラ設置者・運営者向け ～正しい温度測定のためのポイント



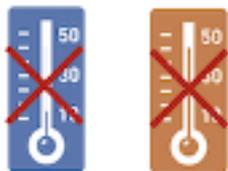
## 屋内に設置

屋外や半屋外への設置は避けてください。本製品は防水・防塵構造にはなっていないため、外気/風雨/粉塵が直接吹き込むことで、故障の原因となります。屋外や半屋外での使用は保証範囲外となります。



## 熱源/照明を避ける

サーモカメラ画面に日光、照明器具（蛍光灯や白熱電球など）、暖房器具、熱を持つ機器、直射日光を受ける床や壁などが映り込まないようにしてください。これらが映り込んでいると、サーモカメラが熱源として認識するため、正しく温度検知が出来ません。



## 適切な室内温度で利用

製品仕様に定められた室温にて正しく利用してください。特に、設置場所の室温が高く（または低く）なりやすい夏季や冬季は冷暖房設備を利用し、室温を保てるようにしてください。室温が基準通りでない場合は、本来の精度での温度検知が出来ません。



## 風のない場所に設置

外気の通り道避け、風がない場所でご使用ください。また、サーモカメラ本体や、測定する人に冷暖房設備の風が直接当たらない場所に設置してください。特に出入口付近や風除室内の設置は避けてください。



## 直射日光、逆光を避ける

直射日光がサーモカメラ本体に当たる場所や、測定の際に人物の背景が著しく明るく逆光になってしまう場所の設置は避けてください。（または極端に暗い場所）顔の検知がしづらい場合があります。



## 設置前にテストを実施

設定値の変更や人物の立ち位置の調整などを行い、正しく測定できるか、運用前にテストの実施をお願いします。温度測定においては、脇下体温計の測定結果もご確認ください。



## 正しい距離で測定

製品仕様に定められた測定距離で利用してください。仕様とは異なる距離で測定をすると、測定結果に誤差が生じる場合があります。



## メガネを外して端末の近くで測定

額辺りの表面が冷えたまま（室内温度に慣れる前に）測定すると、温度が低く表示されることがあります。メガネを外して画面に近づいて測定すると改善する場合があります。



## 帽子・ヘルメット・バンダナ等の額を隠す物は外す

“額”が隠れている場合は、正しく測定できません。



## 前髪を上げて額を出して測定

前髪で“額”が隠れている場合は、前髪を上げてから測定してください。髪の毛が熱い（または冷たい）状態の時に測定すると、温度が高く（または低く）表示されることがありますので、前髪を上げて測定すると改善します。



## 夏季/冬季は屋内温度に慣れてから

サーモカメラは体表面温度を測定するため、夏季や冬季に屋外から入ってすぐに測定すると、額の温度が高く（または低く）になっており、正しく測定できない場合があります。この場合、測定前に1～5分程度待っていただき、屋内温度に慣れてから測定してください。

# 温度測定結果が高すぎる/低すぎると思ったら



## 設置場所の室内温度を

再度ご確認ください

(仕様に沿っていない場合は場所を変えるか、冷暖房設備を利用して調整してください)

仕様外の室温でご利用されている場合、サーモカメラの特性上、温度検知精度が低下し、異常な高温（もしくは低温）が検知されることがあります。特に著しく低い室温でご利用されると、異常な高温が測定される場合がありますが、故障ではありません。



## 高さや向きを確認してください

(顔が画面中央に来るようにしてください)

特定の人物に依存せず、測定温度が明らかに異常がある場合は、画面に熱源が入り込んでいる場合があります。また、サーモカメラのネジが緩んで傾いていることも考えられますので、高さや向きをご確認ください。



## 測定距離を確認してください

(温度測定の際、離れすぎていないか?)



## 少し時間を置いてください

(起動後20分程度は温度測定結果が安定しない場合があります)